

人文科学研究科

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科では、人間及び人間社会を対象とする人文諸科学の方法論を極めることにより、自由なしかも批判的精神をもった教養ある専門人の養成を行う。

博士課程前期・修士課程では、基礎学力と旺盛な知的好奇心を有し、新たな知見の創出を目指して積極的に課題に取り組む学生を求める。入学者選抜にあたっては、志望分野に関する基礎的な専門知識や研究に必要な語学力が問われる。また、面接では、研究計画書に基づき、志望分野において主体的に問題を発見し、問題解決に積極的に取り組む能力を持っているかが評価される。

博士課程後期では、博士課程前期で培ったスキルをさらに磨き、蓄積してきた研究成果をいっそうひろげ深めようという向上心・探究心を持つ者を受け入れる。入学者選抜にあたっては、筆記試験、修士論文と研究計画書の内容の精査及び口頭試問により、志望分野に関する深い専門的知識と問題発見能力及び問題解決能力が問われる。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

近年のますます多様化する院生の需要に対応し、社会と地域のニーズに応えるための教育効果・教育効率を考慮したカリキュラムの構築につとめる。例えば、就職先としての教育職や研究職には近年とくに限界が顕著であるので、それ以外の分野の高度専門職業人への道を選ぶ院生のためにも、社会で即戦力となる能力の涵養や育成が必要で、それにむけてのカリキュラム編成をはかる。

また、院生の研究成果の公表の場の確保を行い、『大学院論集』の充実に努め、学会誌、その他の一般の研究雑誌にも投稿するように指導し、他流試合のできる実力をつけさせる。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

体系的な教育課程を実施することによって、スムーズな学位取得の実現に努める。このことによって研究に対する意欲を高めさせ、前期課程と後期課程との有機的な繋がりをより実質化するとともに、研究の一貫性を保障し、課程博士の取得が円滑に行われるようにする。そのために博士学位申請と審査のための手続きを明確にし、論文作成及び学位申請への動機づけをはかる。

学位論文作成を通して養なった研究能力を活かし、広い分野において専門的な仕事のできる職業人の育成をはかる。

